

年 頭 所 感

～あらゆる未来を想定し、先んじて手を打つ～

一般社団法人京都府タクシー協会

会 長 筒 井 基 好

新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新春の集いで「DXの推進とアライアンス(事業者連携)」を呼びかけさせていただきました。また新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行し、人流の回復に加え、インバウンドなど観光需要が復調して、京都の街も賑わいをもたらしました。

こうした中、好機到来と運良く絶妙なタイミングで5月に京都市域地区の運賃改定が実現し、個々の経営判断による遠距離割引の是正もあって売上げが増加し、コロナ禍でエッセンシャルワーカーとして耐え抜いてくれた乗務員の待遇改善につながり、さらに喫緊の課題であります人手不足、本年4月から実施されます改善基準告示の見直しに取り組んでいるところです。また、京都北部地区でも運賃改定申請があり、12月に近畿運輸局で改定の必要性が判断され審査中ですので、運良く年度内実現につながればと願っているところです。

さらに、未来創造会議が企画・立案し、経営委員会の全面支援を得て実施した、タクシー産業の魅力発信のための「タクシーフェア」、京都駅烏丸口タクシー乗り場改善のための金閣寺シャトル(乗合タクシー)事

業など迅速果敢に実施することができました。事業内容の分析に加え、これらに限らず積極果敢に、「タクシーに出来ることはタクシーが」を前提に、DXとアライアンスの強化を図り、足らずを補完しあい利用者利便の向上を図ってまいります。今年も運の良い1年であって欲しいものです。

一方、ライドシェアと称する規制改革の議論が10月以降集中し、政府において「中間とりまとめ」がなされたところですので、しっかり勉強し、沈着冷静に状況を見極め対応する必要があります。今後はさらに、規制改革議論の中で有識者から提出された「第二ステップ(新業態としての新法制定)」の検討が、政治も含め活発になると想像するところですが、先人達が作り上げてきた今あるインフラを最大限活用すべきだと思います。政治が語るのは「国民の安全」であるはずなのに、「移動の自由」や「権利」で解決しようとする姿勢が摩訶不思議で仕方がありません。

加えて、インバウンドは、コロナ禍で疲弊した国内産業に潤いをもたらすために有効ですが、何故ここまで公共交通を支えてきたタクシー事業にフォーカスされるのか、全国のタクシー事業者が一日も早く復活をとげるべく日夜努力し、利用者のご理解をいただきながら運賃改定を実現し、賃上げ、労働条件改善を実施し、人材採用もかつてないほど上向き、若年層の入社により平均年齢の逡減も実現しつつある状況に加え、持続した雇用の中で安全教育を受け、日々の安全運行に努めています。一方フリーランス、ギグワーカーの人を安く使う経営は終わり、人材とともに成長してゆく社会、会社を創っていくことが現代における経営者の使命であると

考えます。

日本の良さは「治安が良く安全」「チップがいらぬこと」だと私は思っていますので、インバウンドが求めているものはそこにあると思います。わざわざ長所を落とす必要は無く、今の日本を体感してもらうことこそが「旅」であり「観光」です。

もちろんタクシーも進化し続けなければなりません。技術の進歩は目覚ましく、タクシー産業進化のためのより良きアイデアは必要で提言があれば、積極果敢に取り組んでまいります。長い歴史のなか現行法も進化し、安全追及のために積み上げてきたものに対する承前啓後が失われた、昨今のライドシェア規制改革の議論は軽く、安全を定義するならば、確かにレビュー(個人評価)によって一定の安心感は得られるかも知れませんが、しかしそれは単に「みんなの評価・感想」でしかありません。安全とは国などのある一定の信頼される機関が認めるひとつの資格でクオリファイ(適格・適任)ですので、安心と安全をごっちゃにしてはいけません。レビューも結構ですが、人間が人間をスマホでピッと点数つける、「悪質ドライバーを排除できる」悪質、排除に対し、我々の仲間をそんな表現できませんし、職業運転の仕事は世間の考えるほど簡単なものではありません。今一度、この人手不足時代に運転の仕事を見つめ直し、もっと崇高で貴重で大切な仕事、職業である事を認識した発信に取り組んでまいります。

そうは言っても現実には、府下でも交通空白地域や公共の福祉のため幼稚園バスや介護など、道路運送法第78条第2号及び第3号の自家

用自動車による有償運送に加え、時期・時間帯・場所など地域によってはタクシーの手薄な地域もありますので、実情をつぶさに把握し、「タクシーに出来ることはタクシーが」を前提としつつ、議論を重ねることが重要になります。自治体と会話を重ね、地域公共交通会議に積極的に参画し、信頼を構築していく努力を積み重ねながら、連携強化を図るため、積極的に行動してまいります。

ライドシェアと称する規制改革議論で厳しい環境ですが、苦しい今だからこそ、アイデアを寄せ合い各社が互いに連携して、常に未来志向で、課せられた重大な使命であります安全・安心を大前提に、府下のあらゆる地域で生き活きと躍動するタクシーが、利用者から信頼され、必要と認識が深化されるよう、まさに「オール京都」の理念を合言葉に、創意工夫にあふれた取り組みを行ってまいります。

会員の皆様におかれましては、どなたでもご意見や諫言を賜り、京都のタクシー事業の安定と業界の活性化に向け、お力を貸していただきたいと存じます。地域で困りごとがあれば遠慮無く執行部にご連絡いただければ、直ちに駆けつけ実情を把握し、自治体と議論を重ねてまいります。

本年が皆様方にとり、希望に満ち・充実した一年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上